

# エコールKOBEdaより

発行 福祉事業型「専攻科」エコール KOBEda NO 1 2015.5.1 (金)

4月の末になり、一気に春らしい陽気になってきましたが、いかがお過ごしですか？  
新年度がスタートして約1ヶ月が経過し、新入生もずいぶん学園生活にも慣れてきましたが、疲れのみられる学生もいます。連休にはゆっくり休んで元気になってきてほしいと思います。  
さて、4月には入学式から約1週間の7日（火）に歓迎遠足で総合運動公園に出かけました。少し寒い陽気でしたが、1年生2年生の交流が進みました。21日（火）の野外活動は初めて全員での話し合いを行い、テーマが「動物」でしたので、「王子動物園」と「どうぶつ王国」の2ヶ所に分かれて出かけました。調理実習や外食の講義、選択講義も始まりました。今号は入学式、野外活動などを中心に新年度スタートの様子をお伝えします。

## 平成 27 年度入学式

新入生が 17 名入学 合計 31 名の学園に

今年度の新入生は17名で、過去最高です。4月1日に入学式を行いました。2年生や家族、出身校の先生方が見守る中、拍手で入場。社長、学園長の挨拶の後、職員紹介があり、入学生一人ひとりが準備してきた「自分のしたいことや抱負」を書いた文を読んでしっかり発表しました。2年生は代表が挨拶をし、歌「明日があるさ」を歌って歓迎しました。恒例の鉄人前での記念写真はあいにくの雨のため撮れず、室内での写真になりましたが、学生全員で元気な笑顔で撮れました。

# 歓迎遠足で総合運動公園に行きました。(7日)

歓迎遠足で1・2年合同の初めての外出は総合運動公園です。学年単位で地下鉄を利用して行きました。療育手帳を見せて割引の手続きを経験しました。総合運動公園では学年で散策コースを分けて歩き、チュウリップの咲く花畑で合流。みんなで記念写真を撮ってから一緒にお弁当タイムです。かなり寒い一日でしたが、いろいろな遊具で遊び、午後には恒例になっている「宝さがし」ゲームを楽しみ、賞品のお菓子を手にしました。

## 初めて計画した野外活動(21日)

### テーマは「動物」 ～王子動物園とどうぶつ王国～

野外活動は学生自治会が企画することになっていますが、昨年度の取り組みの過程でテーマを決めてから行き先を決めるということになっています。今回はテーマがアンケートの結果、「どうぶつ」ということになり、行き先は「王子動物園」と「どうぶつ王国」になりました。希望先でそれぞれ2つのグループに分かれて、さっそく話し合いです。1年生も交えて行き方や現地での過ごし方、昼食はどうするのか、必要なお金は、解散の仕方など相談をしていきます。なれない話し合いに戸惑う1年生の姿も見られましたが、計画が決まり当日を迎えました。

#### 王子動物園

すばらしくいい天気恵まれ、王子動物園内は遠足の子供たちでいっぱいでした。新緑が美しくパンダやカバ、キリン、ゾウなど次々と動物を見て楽しみました。動物資料館を見学、遊園地で遊ぶ、おみやげを買うなどそれぞれに楽しんでいました。

#### どうぶつ王国

ポータライナーに乗って行きました。経験のある2年生が1年生に切符の買い方や全体の進行をリードする姿が見られ、先輩としての自覚を感じました。どうぶつ王国では自由に園内をまわり、近い距離で動物と触れ合っていて楽しんでいました。昼食は弁当持ち込みができない施設なので園内のハンバーガーショップで食べました。

# 土曜登校(18日)

## ボウリング (フェニックスボウル)

今年度初の土曜登校では、話し合いの結果、賛成多数でボウリングに決まりました。ところが役員が近所のボウリング場に予約に行くともうダメだということがわかり、急遽役員が機転をきかせてフェニックスボウルに変更し予約を取りました。初めて使用するボウリング場ですが、歩いて15分ぐらいで行けます。とても広くて練習もさせてくれるし、また違った雰囲気です。それぞれ1ゲームを楽しみました。1・2年生の壁を超えて一緒に楽しむ姿に、また一歩友だち意識が深まったように感じました。

## 美術部の活動が取材されました。

空き家・空き地再生支援ネットワーク(空き縁ネット)の活動の一環で紹介

### 市内の空き家率

区名	空き家率	空き家総数
長田区	18.0	11,140
兵庫区	16.5	11,100
中央区	14.2	14,050
灘区	14.2	11,090
垂水区	12.8	14,380
東灘区	12.4	13,840
北区	12.1	12,130
須磨区	11.8	10,430
西区	9.1	9,950

2013年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)を元に作成。空き家率は%

粘土を使った作品づくりに取り組む「エコールKOBÉ」の学生ら



同区南部(駒ヶ林・真陽地区)の所有者と(通称・空き縁ネット)利用希望者をつなぐト。市の市街地活性化「空き家・空き地再生化プロジェクト」の一

### 長田区

全国的に増え続ける空き家。2013年の「住宅・土地統計調査」で、空き家率18.0%(全国平均は13.5%)と、神戸市内で最も高い長田区では、市民らが利活用に向けた試みを続けている。

## 空き家対策 市民主体

所有者と利用希望者つなぐ活動

### 駒ヶ林・真陽地区 アトリエ開設、地域と交流も

同ネット代表世話人で1級建築士の松原永季さん(49)は「家賃が

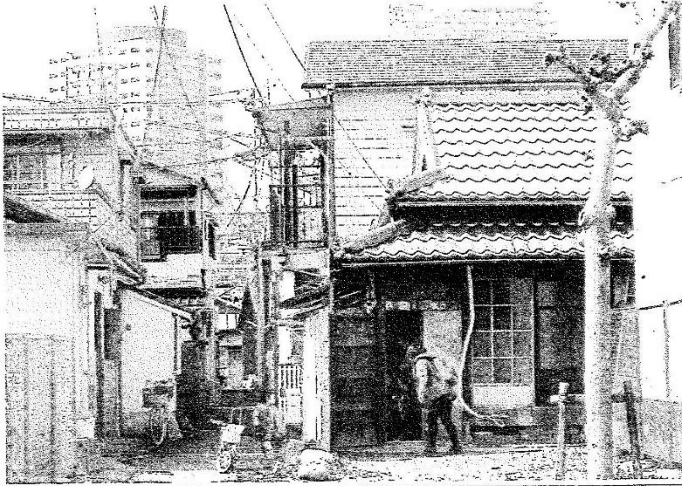
同ネットが扱う空き家には問い合わせが寄せられ、利用に向けた話し合いが進んでいるという。

近隣では昨秋、空き家を改修した「アトリエKOMA」が開設。発達障害がある学生らが通う「エコールKOBÉ」(長田区)の美術部員が活動する。

同ネットによると、駒ヶ林地区の空き家、空き地、駐車場は計約260カ所。阪神・淡路大震災で倒壊し取り壊された住居が、その後再建されなかつたり、地域外への人口が流出したりするなど、さまざまな要因があるという。

環で、今年3月に住民やNPOで発足した。

(8面に関連記事)



長年空き家だった長屋を改修した「アトリエKOMA」(右手前)＝いずれも長田区駒ヶ林町2

手ごろで改修しやすい点は高齢者、障害者など社会的弱者の人たちが使えるような場所になる。交流会や地域での活動を通じ、お互いの信頼関係を築いていきたいと話している。

電子版「神戸新聞NEXT(ネクスト)」の特設ページ(<http://www7.kobe-npo.co.jp/blog/akiya/>)ではさらに詳しい情報がご覧いただけます。

(峰太郎)